



三谷通り商店会

■ 烏山暁子さん

「callas pain (カラスパン)」店主。中野区出身。岐阜の人気ベーカリー「トラン・ブルー」での10年間の修業を経て、2020年、三谷通り商店街にcallas painを開店。朝6時半のオープンとともに行列となる人気店に。

■ 田中賢一さん

三谷通り商店会会長。武蔵野市出身。三谷通り商店街で家電品の販売や修理、工事を行う1970年創業のミタカ電器2代目。先代も商店会の会長を務めていた。

■ 烏山さん 自分のお店を出そうと思ったとき、住んでいたのが小金井市ということもあって、中央線沿線で物件を探していて偶然見つけたのが三谷

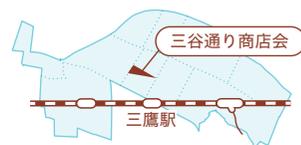
■ 田中さん 戦後、西久保地区・三谷通り沿道の町内会の中でお店をやっている人たちが商工会をつくったのが今の三谷通り商店会の始まりだと聞いています。現在、三谷通り商店会の会員は95名ですが、最盛期の1980年代には小売店だけで120店以上あったそうです。その後、2代目が跡を継がなかったことでお店を閉めるところも多くなりましたが、最近では若い人たちが空き店舗で新たにお店を開くケースも増えています。「callas pain」の烏山さんもその一人ですね。

■ 田中さん 戦後、西久保地区・三谷通り商店街でした。もともとチェーン店や大型店がひしめくエリアより、昔ながらの商店街が好きだったので気に入りました。早朝からお店を開けたいと思っていたので、朝6時くらいに商店街の入り口に立って人の流れを見ていたら、通勤・通学で早朝からかなり人通りがあることが分かって、駅から少し離れてはいるけど、ここなら大丈夫だな、と。出店にあたり田中会長に直接相談に伺ったら、市の支援金のお話なども詳しく教えてくださって。

■ 田中さん 戦後、西久保地区・三谷通り沿道の町内会の中でお店をやっている人たちが商工会をつくったのが今の三谷通り商店会の始まりだと聞いています。現在、三谷通り商店会の会員は95名ですが、最盛期の1980年代には小売店だけで120店以上あったそうです。その後、2代目が跡を継がなかったことでお店を閉めるところも多くなりましたが、最近では若い人たちが空き店舗で新たにお店を開くケースも増えています。「callas pain」の烏山さんもその一人ですね。

■ 田中さん 戦後、西久保地区・三谷通り沿道の町内会の中でお店をやっている人たちが商工会をつくったのが今の三谷通り商店会の始まりだと聞いています。現在、三谷通り商店会の会員は95名ですが、最盛期の1980年代には小売店だけで120店以上あったそうです。その後、2代目が跡を継がなかったことでお店を閉めるところも多くなりましたが、最近では若い人たちが空き店舗で新たにお店を開くケースも増えています。「callas pain」の烏山さんもその一人ですね。

昔ながらの
のんびりした風が吹く
三谷通り商店会



「三谷通り商店会」は、三鷹駅の北西に位置し、中央通り交差点から西側の井の頭通りや、三谷通りの店舗などから成る商店会です。商店会の会長を務める「ミタカ電器」の田中賢一さんと、三谷通り商店街の人気店「callas pain」の烏山暁子さんに、商店会の昔と今、未来について語っていただきました。





■田中さん 商店会に問い合わせをいただいた方には、物件のオーナーを紹介したり、商店会会員の不動産会社を紹介したり、市の支援制度のお知らせをしたりしています。少しでも商店会に以前のような活気が戻ってくれば我々もうれしいですから。鳥山さんは実際にここでお店をオープンしてみようでしたか。

■鳥山さん お客さまの大半はご近所にお住まいの方ですが、皆さんホントにあったかいんですよ。オープン直後、製造が追い付かなくなってお待たせしても、皆さん「大丈夫、大丈夫」と言ってくださり、すごくありがたかったです。そして、皆さん早起きですよ



ね。朝6時半のオープンと同時に犬の散歩やジョギングのついでに大勢の方が来てくださって。ご近所の方がサンド履きで今食べる分だけ買いに来てくださるのがうれしいんですよ。パンが焼けたそばから、すぐに食べてもらえる。三谷通り商店街は私の理想にぴったりの場所でした。

■田中さん すっかり早朝からお客さんが行列する人気店ですよ。新しくお店を開いた方が「三谷通りはのんびりした風が吹いている」と言っていたのが印象的です。吉祥寺のような激戦区ではなく、もう少し自分のペースでやりたいことがやれる場所なのかなと思います。

コロナ禍でも 若い世代が 商店会を盛り上げる

■鳥山さん 2020年のコロナ禍での新規オープンだったので不安しなかつたんですけど、商店街で同世代が経営するレストランやカフェとコラボ

でサンドイッチを作ったり、周りのお店にもずいぶん助けられました。向かいの八百屋さんからはよくフルーツをいただくので、お返しにパンを差し上げたりしています。

■田中さん コロナ禍前までは、三谷通り商店会として慰安旅行に行ったり、毎年3月8日の「さんやの日」や七夕などのイベントなどを通して親睦を図っていたのですが、それらがすべてできなくなってしまったので、どう交流をしていくのが課題でした。でも、商店会が舵を取らなくても、若い世代を中心に自然発生的に交流が生まれていく方が良いのかもしれない。

■鳥山さん 「さんやの日」とか楽しそうなので、それはそれでやりましようよ(笑)。

一つ気になっていたのは、三谷通りにもシャッターが閉まったままのところが結構ありますよね。持ち主の方にとって手続きなどが複雑だったりして空いたままになっているのかなと思うのですが、そうしたところが店舗になつたらうれしいですね。例えば、お肉屋さんができたら、うちのパンでコロッケパンを作りたいです(笑)。

■田中さん 実は今、三谷通り商店街

では、シャッターが閉まったままになつても貸しに出ている物件は多いんです。自宅兼店舗でやっていた方が多いので、改装して人に貸す場合、費用負担が大きくなります。それをもう少し簡易に行えて、高齢のオーナーの負担を軽減するような仕組みがあれば、商店街の活性化にもつながると思うのですが。この辺りは市でも何か仕組みを考えてもらえるとうれしいです。

今、三谷通り商店街は、若い人が「ここで店を出したい」と思ってくれる商店街になりつつあります。真面目にやれば商売が成り立って、たまには旅行に行ったり趣味の時間が持てたりする余裕がある商店街、まちになつてくれたらうれしいですね。



田中さんオススメの
callas pain の
「チーズラスク」



鳥山さんオススメの
callas pain の
「オレンジ」